

ロンドン・デザイン・ツアー視察報告書

2018 年 10 月 04 日ー 10 日

桑沢デザイン研究所 ビジュアル分野専任教員

川畑 明日佳、豊島 晶



ロンドン・デザイン・ツアー視察 所感

学生を引率してのロンドン・デザイン・ツアーへ向けた視察として川畑・豊島の教員2名でロンドンのデザイン事務所及びミュージアム、アート・フェア、美術学校を集中的に回り、視察を行いました。川畑のロンドン在住経験と桑沢での国際交流活動を通してロンドンには多くの知人友人がいます。皆様に忙しい中を協力・対応していただき、充実した視察が実現できました。

他方、地下鉄のストがあったり、何度か大雨に降られてずぶ濡れになったり、デザイン事務所が交通の便がよくない郊外に移動していて移動に時間やお金がかかったりと東京のように予定通りに進まないことも多く、海外での行動に慣れない学生を引率した場合、現地5泊でここまで勢力的かつ効率的に回れないであろう、ということも判明しました。

食事を抜いたり、後回しにしてデザイン事務所訪問や見学を優先させていたのですが、学生引率の場合は食事や休憩、また若干の観光なども適宜織り込む必要があり、同じ日程でも今回の半分も回れないと予想します。また今回は建築、プロダクトデザイン、インテリアデザイン、グラフィックデザインの事務所を訪問し、アート・フェアやアートの展示も多く見学しましたがDesign Museumを除きファッションに関する視察ができなかったため、参加希望者によってはV&Aの見学やRCAでファッション分野を見学するなど検討が必要です。また、バウハウス・ツアーの行われるドイツと比較しロンドンは物価が高く、食費や交通費もかなりかかった印象です。ロンドンの訪問時期としては少々寒い程度で快適な季節でしたので、10月は適しています。浅葉所長の本やISSEY MIYAKEからお寿司の小物入れを購入し、訪問する事務所に持参したのですが、大変喜んでいただけました。古今東西、手土産の重要性に変わりがないことも再確認できました。

訪問した場所まとめ

美術館：

Barbican Centre

>> The Malady of Death 観劇

Serpentine Gallery

>> PIERRE HUYGHE U Umwelt 展

Serpentine Pavillion 2018

>> Designed by Frida Escobedo

Tate Modern >> 常設展

Design Museum >> 常設展

South Bank Centre >> Market

Hayward Gallery >> Space Shifters 展

Royal Academy of Art >> Renzo Piano 展

アートフェア：

Frieze Art Fair >>

FRIEZE LONDON + FRIEZE MASTERS

デザイン関係店舗：

Jasper Morrison Shop

Conran Shop

ARAM Shop

デザイン事務所：

Rogers Stirk Harbour + Partners > 建築

Ron Arad and Associates Ltd > 建築・SD・PD

Ab Rogers Design > 建築・SD・PD

Industrial Facility > PD・SD

North > VD

A2 (Henrik Kubel) > VD (Font)

Graphic Thought Facility > VD

美術学校：学部

Royal College of Art >> インテリア学部

10月4日・5日（木・金）日本発・ARD, A2, GTF

10月4日（木）

08:00 に羽田空港で豊島先生と合流、11:35 発全日空 NH211 便でロンドンへ。16:05 ロンドン着。17:15 ロンドン名物の長い入国審査後、荷物受取り。Heathrow Express + Taxi でホテルへ。18:15 ホテル着（hub by Premier Inn London Goodge Street / Brook House, Torrington Place, London, UK, WC1E 7HN. Tel: 0333 321 3104）。hub by Premier Inn は有名な庶民的ホテルチェーン [Premier Inn] による新ブランドのホテルです。物価の高いロンドンで1泊 15,000 円以内の部屋を探すのは至難の技なのですが、このホテルは部屋は大変狭いながらも立地はよく清潔で快適でした。しかし私たちが [Premier Inn] という安チェーン・ホテルに宿泊していることに私の元上司はびっくりしていました。イギリスは階級社会なので宿泊先や手土産の内容、その他に誰を訪問するのか、訪問時の洋服など大いに注意が必要です。20 年来の知り合いでなければ、安ホテルに宿泊するアジア人には会ってくれなかったでしょう。洋服に関していえばヨーロッパでは日本人が万能と考えがちなビジネス・スーツのような服装も避けるべきです。デザイ

ナーらしくモダンでカジュアル・スマートな服装が求められます。例をあげれば浅葉所長の服装は日本人デザイナーとして非の打ち所がなく、どんな場面でも 100 点の服装だと思います。（実際浅葉所長は海外でいつも服装を褒められています。）

18:30 ホテル発。携帯の SIM カードを購入 [Carphone Wearhouse]。19:45 より Barbican Centre 内の「Barbican Theatre」にて The Malady of Death Directed by Katie Mitchell / Theatre des Bouffes du Nord を観劇。長旅直後フランス語（英語字幕）の劇は集中力を使い、疲れしました。22:00 ホテルの近所でサラダを購入し帰宅。

10月5日（金）

地下鉄が一日中スト。バスとタクシーで Ab Rogers Design [Ab Rogers Design / Lime Wharf, Vyner Street, London E2 9DJ T. +44 (0)207 682 5020] に向う。10:00 着。お土産を一旦置いてから、A2/SW/HK + A2-TYPE (5 Cotton's Gardens, London E2 8DN) 訪問。2週間ほど前に Mexico の AGI で会ったばかりの Henrik Kubel さんと再開を喜びました。A2 のオフィスはまだ改装中ながら新たな事務所でご満悦。



機械でチェックイン。困った時だけ人が対応



ヘンリックさんの A2/SW/HK 新事務所の外装



オフィスの前で記念撮影



Jasper Morrison の店舗の入口。解りづらい！

10月5日・6日（金・土）ARD, A2, GTF・Serpentine, Design M, Friez Art Fair

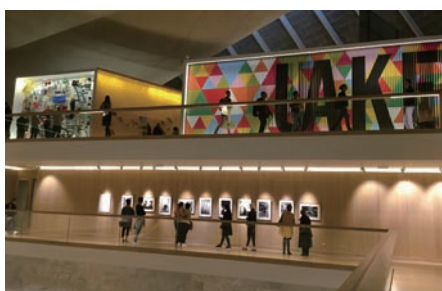
ARD のオフィスに帰る私たちを、ヘンリックさんは近所の Jasper Morrison の秘密めいたお店を案内しつつ送ってくれました。店から ARD までタクシーで移動。ロンドンのタクシーは乗車前に行き先を交渉します。日本とは逆に長距離を嫌うので、目的地が遠かったりドライバーさんが行きたい方向と違うと乗車拒否されます。13:00 ARD 着。ARD の最新プロジェクトや新しいオフィスを見学。14:30 Graphic Thought Facility (44Vyner Street, London E2 9DQ) の Andy Stevens さんを訪問。GTF はドイツ人スタッフが作る「ジャーマンランチ」中。Vitra との仕事で物々交換したんだ！という Vitra の家具がオシャレなオフィスを見学。15:30 から元上司のエイブさんとかなり遅いランチ。19:00 ホテル着。



GTF はドイツ人スタッフによるランチ中



元上司のエイブさん、アーニーさんと



新しくなった Design Museum

10月6日（土）

10:00 からハイドパーク内の Serpentine Pavillion 2018 Designed by Frida Escobedo を見学。夏のロンドンの一大イベント、サーペントインのパビリオンは10月7日までだったので見れて幸運です。ただ、この日は一日中雨。ハイドパークとリージェントパークという広大な公園内（もちろん公共交通機関なし）の移動で一苦労でした。カフェでお昼を食べつつ、Design Museum 見学。リージェントパークの Friez Art Fair へ移動。13:00 頃着。広大な公園内移動で雨でびしょ濡れに。この FRIEZ Art Fair のロゴは昨日訪問した GTF によるデザイン。Art Fair でヘンリックさんに再会したり、River Cafe を出店していた Ruthie さん（Richard Rogers 夫人）に会って本にサインを頂きました。



Serpentine Pavillion 2018



GTF によるサインの前で記念撮影



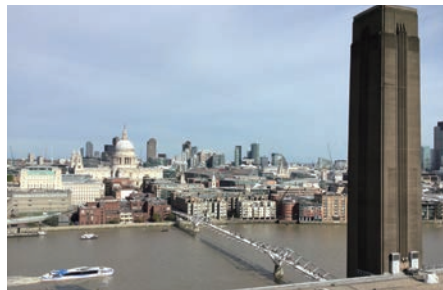
Richard Rogers の奥様 Ruthie と再会

10月7日・8日（日・月） Tate, Heyward, RA・North, Industrial Facility

Frieze Art Fair 視察の後、Conran Shop と ARAM Store を見学しながら ICA (Institute of Contemporary Art)へ移動。インスタレーションを見学、20:00 から元同僚とディナー。24:00 ホテルに戻る。

10月7日（日）

日曜なので美術館巡り。朝から巨大な Tate Modern の常設展を見学。Tate Modern から South Bank Centre まで歩き、South Bank Centre の屋外 Market の屋台でお昼を食べ、Hayward Gallery で「Space Shifters 展」を見学。Space Shifters 展は大人気で入館及び、特定の展示を見るのに2時間ほど待ち時間があり驚きました。晴れていたため交通費、食費ともに節約できた1日。ちなみにテートモダンとサウスバンク、ヘイワードの



Tate Modern からロンドンの風景



豊島先生観劇の Space Shifters 展



North でテートのトートにサインをいただく

ロゴは明日訪問する North さんのデザインです。ヘイワードから移動して、Royal Academy でレンゾピアノ展見学。大きな展覧会を3つ見て疲れしました。夜はホテルのそばで韓国料理。美味しくないキムチチゲ、チャブチェ、ご飯で2人で£33。

10月8日（月）

月曜なので事務所巡り。10:00 に North の Stephen Gilmore (18 Bowling Green Lane EC1R 0BW) さんを訪問。初日に訪問した Barbican のロゴも North のデザインだったので、色々とサインをもらう。12:00、Industrial Facility (Clerks Well House, 20 Britton Street, London EC1M 5UA) の Sam Hecht 訪問。サムさんとは8月のNZのSemi Permanent 会議以来の再会をよこびました。



ヘイワードでこんなに行列するとは！



Royal Academy の屋外作品



ポーズを決める North のみなさん

10月8日(月) Industrial Facility, Ron Arad, RSHP

かなり卓球に力を入れている、ということ卓球台などを見せてくれました。Industrial Facilityの新しい本を頂きました。本のデザインはGTF。次の訪問への時間も迫りほぼお昼抜き、で14:00にRon Arad and Associates Ltd (62 Chalk Farm Road, London, NW1 8AN / (44) 207 284 4963) へ。Ronが遅れて帰ってきて少々不安になりましたが、ご機嫌でスタジオ中を

案内してくれました。浅葉先生の21_21の「ユーモア展」に関する話にも大乗り気で楽しい訪問でした。Ron Aradの作品の独創性とスケールに驚きの連続でした。そして最後にRogers Stirk Harbour + Partners (The Leadenhall Building, 122 Leadenhall Street, London EC3V 4AB) へ。以前展覧会のお仕事を一緒にしたVickyさんの案内でお邪魔しました。



卓球大好き！サム・ヘクトさん



GTF デザインの新しい本「Industrial Facility」



Ron Arad の椅子がずらりと並ぶ天井



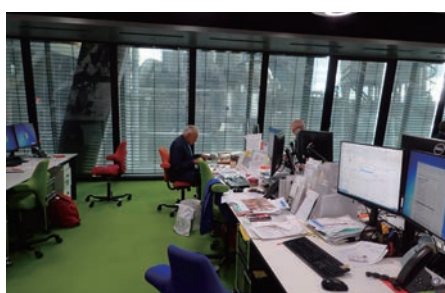
ご機嫌でサインも書いてくれました！



これに乗ってみてー！とご機嫌なロン先生



ピッキーさんもお寿司を気に入ってくれました



オフィスの奥で働くリチャード先生発見！



後ろにロイズが見えるところで記念撮影

10月8日・9日・10日（月・火・水）RSHP・RCA・帰国

訪問してみると RSHP はこれまでの事務所とは桁違いのセキュリティでした。そして「この新しい事務所からは、いつでもロイズビルが見えるんです！」と誇らしげなビッキーさん。リチャード・ロジャースによる2つのビルが隣り合わせに建っているのは奇跡のようで本当に感動的でした。すごく運がいいことにリチャード先生も事務所で働いていて、お話できました。次の打ち合わせに出かける、ということでタクシーに乗せてくれて、途中まで一緒に帰ってきました。

これだけの人びとに一日で会えるとは、本当にラッキーでした！

10月9日（月）～10日（火）
帰国日、朝から慌てて Royal College of Art へ。エイブさんの紹介で Interior Design 科の Ian Higgins 先生に案内をしてもらいました。RCA もセキュリティが厳しく、入るのに30分くらいかかってしまいました…。設備や学生課題を見学。グループ課題で建物の研究や模型を作ったあと、来週から実物を見にベネチアのビエンナーレに研修旅行に行くそうで、学生も楽しそうでした。羨ましい…。

ホテルに戻り、荷造りをして早めに16時ごろヒースローに到着。

19:00 発の NH212 便で羽田へ。

10日14:40に羽田着。お疲れ様でした。素晴らしい交流と視察になりました。



ロイズビルの前でタクシーを止める先生



一緒にタクシーで帰ってきました！



Royal College of Art



インテリア科教室。午前中なんて誰もいません



学生の憩いの場。夕方からビール飲めます



イアン先生と記念撮影



ロンドン・デザイン・ツアー視察報告書
2018 年 10 月 04 日 - 10 日

桑沢デザイン研究所 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-17
ビジュアル分野専任教員 川畑 明日佳、豊島 晶
平成 31 (2019) 年 2 月 14 日